

令和 2 年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

心身ともに健康で、よく考えて判断する力と自主的に行動するたくましい実践力をもち、誠実で思いやりがあり、豊かな心を持った児童の育成を目指す。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【めざす学校像】 <一人一人が いきいきと 輝く 御幸小>

- ・ 子供たちが毎朝早く学校に行って、友達や先生と一緒にになって、勉強や運動をしたいと思える学校
- ・ 教職員が職場の仲間と一緒にになって、子供たちのために実践と研修に励む学校
- ・ 保護者や地域住民と一緒にになって、地域の学校を誇りに思い、進んで手伝いたくなるような学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】学習や学校行事等を通して学校生活に意欲を持って取り組む子供の育成

（1）児童がいきる学校（共に伸びる子供）

児童一人一人がいきいき、のびのびと活動し、様々な「できた楽しさ」を味わう中で、自分の将来の自立と共生に向けて、「豊かな心」「確かな学力」「健康・安全」の育成・向上に努める。

① 豊かな心（やさしく）の育成

- ・ 児童一人一人が生き生きとした学校生活が送れるようにするため「豊かな心育成全校運動」を推進する。

② 確かな学力（かしこく）の向上

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究会を実施するとともに、基礎・基本の定着を図るため「チャレンジ学習全校運動」を推進する。

③ 健康・体力（たくましく）の向上

- ・ 健康で安全な生活習慣を身に付け、体力の向上を目指す児童を育成するため「元気っ子活動全校運動」を推進する。

（2）教職員がいきる学校（共に高め合う職員）

- ・ 授業実践や授業研究を通じた授業力の向上

○（3）家庭・地域といきる学校（共に歩む学校）

- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会との連携協力

4 教育課程編成の方針

（1）基本方針

- ① 日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校学習指導要領・栃木県教育委員会の指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところに従い、本校の教育目標の達成を期するよう編成するための経営方針や前年度の学校マネジメントの成果と課題、本年度の方策等を踏まえた特色ある教育課程を編成する。
- ② 「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」における目標を具現化し、「小中一貫教育・地域学校園」の実施に合わせて、目指す児童像を実現するための学校の在り方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。
- ③ 教育目標の具現化に向け、本校がこれまで積み重ねてきた伝統を生かしながら、徳（やさしく）・知（かしこく）・体（たくましく）の調和の取れた教育課程を編成する。

（2）具体方針

- ① 本校は、平出工業団地が隣接していることや新興住宅地域であることなど、地域性や保護者の実態に応じ、学校—家庭—地域が一体となった教育を推進するよう編成する。
- ② 児童の発達段階や特性、児童を取り巻く社会環境・情勢の変化、問題行動の複雑化・多様化、家庭・

地域教育力の現状，社会体験や自然体験等の実施などを把握し，児童の実態に応じた教育課程を編成する。

③ 自ら学ぶ意欲と変化に対応できる能力を身に付け，個性を伸ばし創造性ある人間育成を目指した教育課程を編成する。

④ 鬼怒地域学校園・小中一貫教育の理念に沿い，制度の円滑な実施と趣旨に応じた創意ある取組の促進を目指した教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（１）学校経営

- ・ 学ぶことの楽しさが実感できる授業実践と授業力の向上を目指すとともに，道德教育を通して，豊かな心と自主性を育む教育の推進に努める。

- ・ 行事の精選や諸計画の見直し，業務の適正化を図り，児童と向き合う時間や教師の研修時間の確保に努め，より良い学級経営，教科経営の推進を図る。

○ 家庭や地域，鬼怒地域学校園との連携を深め，地域人材の支援を得た体験活動を重視し，未来に向かって力強く頑張ろうとする意欲に満ちた児童を育成する。

（２）学習指導

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。

- ・ 基礎学力定着への取組を行う。

- ・ 積極的な読書活動推進のための手立てを行う。

（３）児童生徒指導

- ・ 学校生活のためのきまりやマナーを守る意識を高める。（集団生活のきまりの徹底化）

- ・ いじめのない学校への取組を行う。

- ・ 時と場に応じたあいさつと正しい言葉づかいの習慣化を図る。

（４）健康（体力・保健・食・安全）

- ・ 運動を伴う遊びを奨励する。

- ・ 走跳投の基礎感覚・基礎技能を高めるための取組を行う。

- ・ 食への意識・意欲を高める。

- ・ 登下校時の安全意識を高める。

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	A 1 児童は，進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○主体的，対話的で，深い学びの具現化を図る。 ・友達と協力して活動したり，思いや考えを伝えあったりできるような学びあいの場を設定する。		
	A 2 児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○あらゆる場面での「豊かな心の育成」の推進を図る。 ・本校の合言葉「やさしく かしく たくましく」の周知 ・道德の授業を核として，学校生活のあ		

目 指 す 児 童 の 姿		らゆる場面での指導 ・委員会活動や縦割り班活動の充実		
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○安全な学校生活を送るためにきまりやマナーを守る意識の向上を図る。 ・「みゆきよい子の一日」の家庭への配付と学級掲示 ・職員会議にて「共通理解と指導の統一」 ・毎月の週番（週間目標）の周知と掲示 ・学年、学級による「きまりやマナー」の指導 ・集団の場における話の聞き方のきまりの徹底		
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 80%以上	○あいさつに対する意識向上を図る。 ・児童によるあいさつ活動の実施（委員会による毎週金曜日のあいさつ運動） ・職員からの積極的なあいさつの励行		
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○目標を設定して取り組ませる指導を行う。 ・本校の「めざす児童像」の「健康でねばり強い子」の育成 ・学期始め等に学習・生活の目標の設定 ・年3回のチャレンジテストの実施 ・体育等における各検定カードの活用（みゆき元気っ子ファイル）		
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 90%以上	○運動への意欲の向上を図る。 ・毎週水曜日の昼休みに、外遊びの日を設け、運動への意識の向上を図る。 ・月に1度のスポーツウィークを実施する。 ○望ましい食習慣づくりの推進を図る。 ・お弁当の日・おにぎりの日の実施。 ・栄養士が各クラスで共食、指導に当たること給食指導の充実。 ○児童一人一人が自分の安全を確保するという意識を育てる。		

		・安全マップの作成や登下校時の危険を想定した指導の充実	
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるように努力している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○年間指導計画に基づく計画的な実践を行う。 (なりたい自分みつめよう) ・道徳教育の充実 ・出前授業や見学・体験学習を取り入れた学習の展開 ・地区内工業団地との連携		
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。 ・ALT との綿密なミーティングを行い指導の充実を図る。 ・児童相互や児童対教師など、「人」との関わりが持てる活動を設定する。		
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上	○様々な機会をとらえて、宇都宮の特長を考えさせる指導に努める。 ・給食の地産地消メニューから地元の特産品に触れる。 ・スタンダードダイアリー、宇都宮の歌、みや元気っこ体操の活用		
A10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○I C T機器や図書資料を有効に活用して学習する機会を設ける。 ・調べ学習、まとめ学習での積極的なI C Tの活用。 ・図書室の積極的利用と図書館司書との連携		
A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○お年寄りとのふれあう機会を充実させる。 ・5年生及び6年生による「お年寄りとの交流会」の実施 ・生活科「昔遊びを教わろう」の学習 ・運動会等への招待		
A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○様々な学習を通じて、環境や平和に関する認識を深め、持続可能な社会を考える機会を設ける。 ・総合的な学習の時間で持続可能な社会に関するテーマを取り上げる。 ・社会科における環境や平和に関する学習		
A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童	○特別な支援を必要とする児童の実態の把握と個に応じた指導を実施する。		

	の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	・「特別支援教育コーディネーター、児童指導主任を中心にした実態把握と情報共有 ・保護者や関係機関との連携 ・時宜を得たケース会議の実施		
目 指 す 学 校 の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上	○いじめ防止対策の取組を行う。 ・「いじめ」をテーマにした道徳の授業参観の実施 ・学年便りによる情報発信 ・年4回以上のアンケートの実施 ・委員会によるいじめ防止集会の実施 ・いじめ0標語やポスターの制作と掲示 ・保護者の考えるいじめ0標語の掲示		
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○教職員が、児童の自己肯定感を高められるような指導に努める。 ・児童を認め励ます指導に努める。 ・Q Uや教育相談の結果を生かし、不登校傾向の早期発見や早期対応を図る。		
	A16 教職員は、外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○外国人児童に必要な支援の在り方を共有しつつ指導にあたる。 ・学級担任と外国語指導教員の密接な情報交換 ・保護者とのコミュニケーションによる信頼関係の構築		
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率 90%以上	○職員が児童の良さを認める指導を行う。 ・児童の良いところを積極的に賞賛する。 ・各種委員会、児童会、縦割り班等で児童を主体とした活動を充実する。 ・教職員が児童の前で明るくいいきとした姿を見せる。		
	A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率 90%以上	○個に応じた指導の充実を図り、一人一人の達成感や成就感を高める。 ・教材研究を共有し、予測されるつまずきの支援の手立てを工夫し、きめ細やかな指導の充実を図る。 ・習熟度別学習、少人数指導、週2回のレベルアップ教室の充実		
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○学校全体で良好な人間関係作りに努め、情報交換や連携がしやすい環境を作る。 ・多様な専門性を有するスタッフとの連携協力を図る。		

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○学校の運営の見直しや行事の実施方法の改善を行う。 ・ネットワークシステムの活用など効率的な職務執行に努める。	
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○地域学校園の取組を効果的に実施する。 ・あいさつ運動、乗り入れ授業等、地域学校園の取組を精選しつつ、一つ一つが効果的効率的に実施できるよう工夫する。	
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上。	○地域協議会と連携し、授業や行事での効果的な支援を受けられるようにする。 ・従来支援を受けてこなかった分野についても、ボランティアを募集するなど、連携を強化する。 ・地域協議会と連携した教育活動について、各種便りやHPなどで積極的な情報発信する。	
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 ・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上	○生活科、総合的な学習の時間、社会科等における校外学習や出前授業等、地域の人材や企業と連携した教育活動の実施。	
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 85%以上	○施設設備の整備 ・毎月の安全点検の実施。 ・危険個所の周知。 ・修繕箇所への迅速な対応。	
A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○機器や図書の整理、確認を随時行い、有効活用を図るとともに、必要に応じて補充を行い、学習環境を充実させる。	

本校の特色・課題等	B 1 児童は朝会や集会で、教師や友達の話に耳を傾け、しっかりと聞いている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○集会等では、注意されなくても静かに人の話を聞くなど、基本的な態度の定着を図る。		
	B 2 学校は読書活動を積極的に推進している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 90%以上	○読書カードの活用や学年だより、図書だより等での呼びかけで、家庭での読書を奨励する。 ○図書室利用を活性化するため、多様なジャンルの本に触れる機会をつくる。 ・5分間ドリルの活用 ・司書によるブックトークやボランティアによる読み聞かせ		
	B 3 児童は、漢字や計算チャレンジに積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率 85%以上	○チャレンジテストを活用して、家庭学習の習慣化を図る。 ・チャレンジテストに向けて自主的に学習に取り組めるようにする。 ・保護者に対しても協力を得られるよう啓発していく。		

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）